





編集者から、ひとこと

NA Way マガジンは、読んで終わりにしてはもったいない!

わたしたちはつねに経費を削減する方法を模索している。このため、2011年には紙版によるNA Wayの自動配布を廃止して読者に予約購読の再登録をお願いした。その際には、ぜひともインターネット版を購読していただきたいと呼びかけたことで、印刷代と配送費については何十万ドルもの経費を節約することができたのだ。以来、インターネット版の購読数が増加したのだが、しかし、紙版による購読数もまた増加しつつある。インターネットを利用していないメンバーは多いし、それで紙版を選ぶというのはわかる。だが、紙版とインターネット版の両方を購読するメンバーの数が増え続けているのは、わけがわからずとまどうばかりだ。

世界中で 読まれている NAの定期刊行物

NA Way マガジンは、ナルコティクスアノニマスのメンバーのための雑誌であるため、英語、ベルシャ語、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語、スペイン語など、さまざまな言語で出版されている。そしてこの雑誌の使命は、ひとりひとりのメンバーに回復とサービスに関する情報を提供することであり、そこには回復にまつわる喜びだけでなく、現在NAで問題となっていることや世界中のNAメンバーのだれにとっても見過ごせないイベントなども取り上げている。編集スタッフはこのような使命に従い、世界中のメンバーが特集記事をはじめとするさまざまな記事を書いて、自由に載せられる雑誌にしようとするのはもちろん、現在行われているサービスやコンベンションに関する情報を提供することにも力を注いでいる。だが、これが定期的にメンバーに届く雑誌であるからには何よりもまず、『アディクトであれば、どんなアディクトであっても、薬物を使うのをやめることができ、使いたいという欲求も消え、新しい生き方を見いだすことができる』というNAの回復のメッセージをたたえることにこそ力を注ぐ

NA Wayは、ぜひともインターネット版を購読していただきたい。インターネット版には紙版では読めない記事が掲載されているので、紙版よりもずっとお得である。しかも、インターネット版なら印刷代も配送費もかからないため、その分の予算をNA Way以外の方法でNAのメッセージを運ぶことに使えるようになる。だからこの際、インターネット版を購読している人たちが、その一部や全ページをプリントアウトしてほかの人たちに分けてあげることになれば、何千という紙版の購読者を減らすことができるだろう。

以下の方法で、「得をしたら、おすそ分けしよう」という取り組みに協力していただけないだろうか。

- ・インターネット版を定期購読している人は、プリントアウトしてほかの人たちに読ませてもらおう。
- ・紙版を購読している人は、インターネット版に切り替えるか、「それがいやなら」自分のところに届いた紙版のNA Wayをほかの人たちが回し読みできるようにしよう。
- ・紙版とインターネット版の両方を購読している人は、紙版の購読を中止しよう。

参加方法が決まったら、www.na.org/subscribe (または、件名「得をしたら、おすそ分けしよう」で naway@na.org 宛てにEメール) でお申し込みいただきたい。みなさんがこの取り組みに参加してくれれば、こんな心強いことはない。どうかよろしくお願いします!

ド・J (エディター)

今月号の掲載記事

特集記事	3	・ WCNA 36に関する広報活動
・ ウガンダのために尽くす		『伝統』に関するプロジェクト 13
ベーシック・キャプション・コンテスト	4	フェローシップディベロップメント 15
わかちあい	5	・ ウェスタン サービス ラーニング グディ
・ 我が道を行く		得をしたら、おすそ分けしよう! 15
・ 『伝統10』 これほど役立つもの はない		グループ紹介 16
・ 信頼して任せる		サービスセンター 17
・ 『ステップ8』 やる気		カレンダー 18
ユニティデー	8	NAWS Product Update 19
WCNA 36	9	Coming Soon 20
・ オ・プレゼンテ・ア・リベルダデ		
・ 数字で振り返る WCNA 36		

Electronic subscribers can click here for additional content.

<表紙の写真> エドゥアルド・H (アラジル/ウベルランジス)

NA Way マガジン では、読者のみなさんからののお便りをお待ちしている。掲載された記事に対する感想はもちろん、NAという集まりのなかで取り上げられている問題についてひとつの考え方を示すにすぎないものであっても、エディター宛に送っていただきたい。250字以内にまとまっていれば、そのまま編集の手を加えずに掲載されることになっている。お便りには、本名、現在使われている住所および電話番号を明記することをお忘れなく。掲載される場合には、アノニマスでという希望がないかぎり、ファーストネームと苗字のイニシャルを署名として用いることになる。

NA World Services, Inc.
PO Box 9999
Van Nuys, CA 91409 USA
Telephone: (818) 773-9999
Fax: (818) 700-0700
Website: www.na.org

NA Way マガジン では、読者のみなさんが参加されるのをお待ちしている。この年に4回発行される定期刊行物によって、ぜひ、世界中の仲間たちと分かち合いをしていただきたい。回復するなかでの経験はもちろんのこと、NAのさまざまなことに関する意見や、これからの課題などについても投稿をお待ちしている。ただし、投稿された原稿はどれもみな、ナルコティクスアノニマスワールドサービス社に所有権があるものとされる。購読の予約、編集に対する意見のほか、著作権など実務的なことでの相談は、PO BOX 9999, Van Nuys, CA 91409-9099 にお問い合わせいただきたい。

NA Way マガジンは、NAメンバーがそれぞれに自分で経験したことや自分なりの意見を紹介する雑誌である。ここにはNA全体の意見は表明されていない。そしてもちろん、ナルコティクスアノニマス、NA Way マガジンまたはナルコティクスアノニマスワールドサービス社によって支持されると受け取れるような記事も掲載されてはいない。また、インターネットからNA Way マガジンを配信することを希望する場合には、上記のアドレスに手紙をいただくか、naway@na.orgにEメールをいただきたい。

NA Way マガジン (The NA Way Magazine: ISSN 1046-5421)、NA Way (The NA Way)、ナルコティクスアノニマス (Narcotics Anonymous)、この3つは、ナルコティクスアノニマスワールドサービス社のトレードマークとして商標登録されている。NA Way マガジンは、ナルコティクスアノニマスワールドサービス社 (19737 Nordhoff Place, Chatsworth, CA 91311) によって、年に4回発行される。

ウガンダのために尽くす

みなさん、こんにちは。お元気でお過ごしのことと思います。私はこれまで、こんなにづらい便りを書いたことはありません。こうするのは、よくよく考えてのことなのです。今から3年ほど前、タンザニアでNAのワークショップが開かれたとき、私はウガンダのリージョナルデリゲート [リージョン代表] に命じられ、生まれて初めてというくらいの高揚感を味わいました。私はAZF [アフリ-カン [アフリカ大陸] ゾーナルフォーラム] の誕生に立ち会い、このようなすばらしいサービスの場におくことになったのです。

AZFが誕生するまで、ウガンダのミーティングにやってくるわずかな旅行者を別にすれば、私はよその国で回復の道を歩むアディクトをほとんど知りませんでした。それが今では、自分のことを心から思ってくれるNAのファミリーがいると胸を張って言えるのです。

AZFは、ウガンダリージョンに大きく貢献してきました。必死で活路を見出そうとしている若きアディクトたちとしては、夢物語でしかなかったことが叶ったのです。NAワールドサービスを利用できることなど、私たちにとっては別世界の話でした。なにしろ、会議を運営しようにも、私たちには文献などほとんどなかったのです。どうしていいのかわからないので、あれこれと試みては失敗から学ぶというかたちで会議を進めていました。ですから、私はAZFのワークショップに参加しても、自分がリージョナルデリゲートとして何を求められているのかわかりませんでした。ゾーナルフォーラムというのがどういうものかも、サービスの仕組みというものも、知らなかったのです。グリーンでいられればいいというアディクトにすぎませんでした。そんな私が、AZFの未来像と使命を定めて歴史をつくる場に参加したというのは、なんとも誇らしい気持ちです。

また、ウガンダのように会議もろくに開けず、文献もほとんどなかったリージョンが、今では文献を利用できるようになったことで、カンバラとジンジャという2つの街でしっかりと会議が開かれるまでになりました。私たちのネットワークは近隣のリージョンだけにとどまることなく、アフリカ大陸全土にも、NAワールドサービスにも、そして世界中のNAにも広がっています。AZFのおかげで、まだ苦しんでいるウガンダのアディクトたちにも望みがあるし、私たちの未来像が現実のものになるのも遠いことではないでしょう。

こうして見通しがついたからこそ、私はこのようなメールを書いているのです。ウガンダにおけるNAの発展のために、私はリージョナルデリゲートの座を退くことを決意しました。これは、真摯に考えたゆえのことです。なぜかという、私はもうウガンダに住んでいないわけですから、このまま代表を務めることがウガンダリージョンのためになるとは思えません。これから新しいグループが次々と誕生していくことを考えれば、地元のメンバーがリージョナルデリゲートになる方がNAの発展に大きな影響を与えられるでしょう。

私だって、できればこのままデリゲートを努めていたいし、その理由をあげたらきりがありません。みなさんと家族同然の強い結びつきができてからはなおのこと、そう思います。みなさんによって私の人生は大きく影響を受けたので、これでもうみなさんとはほとんど会えなくなってしまうのではないかと、胸がいっぱいになります。こんなに素晴らしい人たちには出会ったことがないし、だれもがみな骨の髄まで実直です。

みなさんと出会ったことによって、私は取り戻せるわけがないと思っていたものを手にしてきたのです。みなさんは、回復の道ではどんなことも可能なだと信じさせてくれました。この3年間にみなさんとわかちあった経験は、かけがえのないものです。赤の他人が、これまでの人生に欠けていた友人や家族になってくれたのです。みなさんと一緒にサービスを行うことは、回復の道でもたらされた最高の贈り物になりました。このようなメールを書いているとつい感情的になってしまいます。家族のもとを離れていくようなものですからね。それでもやはり、私はもっと広い視野で考えなければなりません。回復の道を歩んでいけば、夢は絶対に叶うのだということを知るために、ぜひ、ウガンダリージョンの人にみんなでサービスに関わるというワクワクする経験をしてほしいのです。

ウガンダのために尽くそうと代表を務めるメンバーであれば、ウガンダリージョンの



みならず、アフリカ大陸全体に良い影響を与えることになるでしょう。これは、間違いなく確かなことです。AZFのおかげで、NAのメッセージを受け取るためにクリーンでいたいと願うアフリカのアドクトには、望みがあるのです。

ウガンダのメンバーたちによって新しいデリゲート【代表】が選ばれるまで、インターネットによるビデオ電話で話すなど、私にできることがあればいつでも助力を惜しまないつもりです。また、これからもウガンダに帰国したときには、リージョナルデリゲートとしてではなくても私で役に立てることをしていくつもりです。今は、新しいホームグループでサービスの役割を引き受けたので、よその国でサービスに関わることに興奮を覚えます。それでも、ウガンダのNAでイベントが行われる場合には、もう一も二にもなく出席させていただきまますから、どうか遠慮なく呼びつけてください。

みなさんがすばらしい家族になってくれたことに、心から感謝しています。また、ワールドボードのメンバーのみなさんや、ワールドサービスのスペシャルワーカーのみなさんに対しても、ウガンダのために尽力していただいたことと、私を含めてAZFのメンバーのことを信じてくださったことにお礼を申し上げます。NAにしていると本当に世界が狭い。私はそう信じるようになったので、「さよなら」ではなく「また会う日まで」と言うことにしましょう。

みなさんのしもべより、ハグと愛を込めて

ピーター・N (スウェーデン/マルメ)
[ウガンダを後にして]



ベーシック・キャプション・コンテスト

ベーシック・キャプション・コンテストに応募いただいたみなさん、
ありがとうございました。今回の傑作に選ばれたのは、
ウェイルソン・A (カナダ/ニューファンドランド・ラブラドル) です。



ほかにも優れた応募作があったので、以下にご紹介しましょう。

使ってしまう「前に」電話しなさい、って言ったでしょ！

クレイグ・D (アメリカ合衆国/ワシントン)



スポンサー： ホームのミーティングに行くでしょ。6時に車で迎えに行くわ。『ベーシックテキスト』と、「フラットブック」と、筆記用具を忘れないように。じゃ、あとでね。

スポンシー： ねえ、シャーリーン、あたしは30日もクリーンでいるし、ステップの本も読んだわ。ミーティングにはいけけないのよ。やらなきゃならないことがあるもの。歯を磨いて、髪の毛を洗って、ツイッターをして、ソーシャルメディアに書き込みをして、それから…

シャーリーン・L (アメリカ合衆国/インディアナ)



電話案内サービス： こんにちは。NAの電話案内サービスです。どんなご用ですか。

相談者： 日曜の朝、4時だぞ。これって留守電の声かな、それとも遅番のボランティアの人？

電話案内サービス： 私は無償でいただいたものを提供しているのです。どんなご用ですか？

みなさんのNAで電話案内サービスの応援が求められているなら、ボランティアになろう！

ネルソン・M (ブラジル・サンパウロ)



ここに、みなさんがNA Wayマガジンに参加できる新企画をご用意しました。左にあるコミック【漫画】のキャプション【短い説明文】を書いて送っていただくだけで、そのままキャプション・コンテストに参加できてしまうのです。みなさんのキャプションから傑作と思えるもの(1点とは限らないかもしれませんが)を選んで、次回のNA Wayマガジンに掲載させていただきます。そうやってNA Wayに名前が載るというのも、なかなかいいものではないでしょうか。申し込みは、Eメールで受けつけています。宛先は naway@na.org。件名は「ベーシックキャプション・コンテスト」とし、本文には名前と住所を必ず記入するようにお願いします。

わかちあい 我が道を行く

やあ、みんな。俺は、アディクトのサロジストだ。NA Way（10年以上も愛読している雑誌）に投稿することはこれまでに何度となく考えてはいたんだが、どうやらここにきて書くきっかけがつかめたようだ。www.naway.org でわかちあいのテーマ例をみていたら、「ステップに取り組むとは、自分にとってどういうことか」というテーマが目が釘づけになった。俺の回復は、この一言によって語りつくされてしまうからだ。

最初にことわっておくが、俺の回復はあくまでマイペースだ。それも厳密に言えば、NAではいささか型破りな道のりだと言わざるをえない。俺は回復の道に踏み出したときに入れられたリハビリ施設で、はじめて4番目のステップについて書いた。その施設を退所したとき（19年ちょっと前のことだ）、荒廃してしまった人生に直面した。仕事もなく、金もない。絶望しきって孤独の底にいるような感覚が俺の人生にしみわたっていた。お袋のところにも身を寄せて職探しをしたが、何をやってもダメなように思えた。NAのミーティングには通っていたけど、それでも使ってしまうようで、恐かったんだと思う。だから、仲間をしっかりくっついて離れないようにしていた。そうするうちにゆっくり、いやになるぐらいゆっくりだが、人生が立て直され体裁が整っていった。仕事に就いて、ミーティングに通い、ひとりの女性（現在の妻）と出会うつきあい始め、次第に俺のようなアディクトでもなにがしかの価値があると感じるようになっていった。

3年が過ぎたところで、住む街が変わった。突然、時間が元に戻ったみたいだった。またもや、心が恐れに支配されてしまった。俺は、友人のところに居候をして金詰まり状態だった。仕事を見つけようとしたが、自分に自信がもてなかった。しかも、その街のNAは誕生したばかりだったので知った仲間もいなかった。ここで俺はニューカマーの状態に逆戻りした。全員が顔見知りのミーティングのなかで、声をかけてくれる人がいないかと思いつきながら隅の方に立っているメンバーだった。そのうちに仕事が見つかり、ずっとつきあっていた彼女と結婚もして、さらにかわいい女の児を養子にしたことで、おれの人生は混乱状態に陥った。新しい仕事。新しい家族。俺は、その状況で踏ん張って毎晩ミーティングにたどりつくのがやっとだった。なんとか正気を保ってクリーンで居続けるには、それしかなかったんだ。

このころ、といってもかなり長い期間だが、俺にはスポンサーがいなかった。（俺は我が道を行くだからな。最初にそう言ったか？）。ただミーティングに出ているだけだあって、ずいぶんと助かったんだ。ちりりほらりと気の合う仲間ができていったし、人生もまんざら捨てたもんじゃないうるようになった。だが、そうやってつるんでいた仲間たちのほとんどが、同じスポンサーシップファミリーに属して、このファミリーでは突然、厳しいことを言い出した。ステップに取り組む唯一の方法は、ステップについて書き、スポンサーをもって、神を信じることしかないというのだ。あいにく、俺はそのような3つの判断基準のどれにも適合しなかった。そして、俺が無神論者であることは（クロセットから出ていくような気分だったが、自分を偽ることに限界が来て、俺はクリーンになって7年目あたりで無神論者であることを公言するようになっていた）、このファミリーの連中にはどうも許しがたいことのようにだった。

というわけで、俺はそれっきり仲間はずれにされてしまい、それから2～3年は俺の回復の暗黒時代となった。俺は自信がなかったし、たまたま孤独だったから、あの連中（これまでつるんでいた仲間）のなかにはまだ味方になってくれるやつもいるんじゃないかと思った。だが、みんなそろいもそろって、俺がプログラムに取り組んでいないと強く批判し、それじゃリラプスするだろうとほめかした。リラプスなんて考えただけで背筋がゾツとしたし、そのときには家庭のことも全然うまくいってなかったんで、八方ふさがりだった。夫婦の問題を抱えて、争いが絶えなかったが、それでも俺はだんだんと父親であることに慣れていった。とにもかくにも、俺はミーティングにはきちんと通った。そのことを、よかったとつくづく思う。あんな時期にクリーンでいられたんだから、まさにミーティングさままだ。

俺は、遅ればせながらスピリチュアルな面で底を突き、はいあがるうと死にものぐるいで前進した。職を変えたことで、仕事の面では成功を収めた。経済的な面で、生活はよくなった。妻と俺は結婚問題のカウンセリングを受けるようになり、それによって俺は幼児期にあった問題のことで専門家に会う必要があるとわかったため、それから4年間かけてセラピーのセッションを受けた。このような時期であっても、ミーティングにはこれまでと



伝統 10 これほど 役立つものはない

ナルコティクス アノニマスは外部の問題に意見を持たない。したがって、NAの名は公の論争で引き合いに出されるべきではない。

22年にわたって回復の道を歩むうちに、私には『伝統』がだんだんと身近なものになってきた。そのため、ナルコティクス アノニマスが世界に広がる仲間の集まりとして外部の問題に意見を持たないことの重要性は理解している。思い返せば、アディクションが猛威を振るっていたころの私は、討論ばかりしていた。場合によってはかなり白熱した討論になり、意見の対立や争いにも発展し、最後にはなり振り構わずに相手をこきおろす始末だった。それでも、NAが自分のスピリチュアルな面での成長に関わるものだとして理解できるようになったことで、NAは自らの有効性を維持するために、地域社会でも世界でも広く通用するようにならなければならぬとわかった。私はNAのメンバーである以上、アディクションの猛威からの解放を求めている人たちに与えるNAの影響を重視している。NAには自由があるが、それはどんなアディクトもNAにつながればスピリチュアルな原理を実践できるということに他ならない。私たちがクリーンになって生きていくことにとって重要ではない問題について、めいめい好き勝手に意見を述べていいということではないのだ。

ウォルストン・B (アメリカ合衆国/コロンビア特別区 [ワシントン DC])

DCリンク『DCエリア・ニューズレター』より転載

変わらず通っていた。週に3回から4回だ。ゆっくりではあるが、俺をとりまく世界もおのずと再構築されていった。NAで新しい友人ができたし、仕事での成功によって再び自分に自信がもてるようになり、妻や娘との関係がよくなってきずなが深まった。

俺は19年が過ぎた今も、つながりたてのころのようにミーティングに通っている。家庭は円満で、家の中には笑いが絶えない。娘はもう大学1年になったし、俺は自分の専門分野で成功を収め、上級専門職に就いて広く人望を得ている。ステップについて書くことは、やはり必要だとは思えないのではない。相談相手となるスポンサーはいるが、神は今もって信じてはいない。俺はステップに取り組んでいるのか？ そりゃ、もちろん取り組んでいるさ。NAで当たり前になっているような取り組み方をしているか？ いや、そうじゃない。俺はサロジット流の取り組み方をしているのだから、だからこそ俺と同じようなアディクト、すなわち迷いながら自分がステップをやっているのかどうか疑問に思っているアディクトに、手をさしのべたい。それが、こつこつと投稿した主な理由なんだ。要するに、ステップに取り組んでいるかどうかは、自分が判断すればいい。それが俺のメッセージであり、俺の意見でもある。書くことは道具のひとつなのに、俺

NAは、 狂信者の集まりではない

たちはときどき道具を使いこなすことと庭を手入れすることを取り違えてしまうんだ。俺は、書く連中がステップに取り組んでいないなどと言うつもりはない。

書いている連中は、ステップに取り組むなら書くしかないと言わんばかりで（実際に、そう言うのはばかにならないこともあるが）、そのことに俺はときどき腹が立つ。そうやってみんながよってたかって俺のことをNAの流儀にそぐわないと決めつけ、むりやりにも俺がプログラムやステップに取り組んでいないと思うように仕向けようとしたため、俺はNAにいらなくなるところだった。俺に言えるのは、スピリチュアルな道の例にもれず、このプログラムによる回復の道は広大なのだから、俺たちはそれぞれに自分の進むべき道を見つけるしかないし、それが自分にとって効果のあるやり方なのだということだ。俺は自分の道を見つけるまで踏みとどまっていたらよかった。そのおかげで、今は、日々の生活でも家庭でも笑いが絶えることがない。

今の俺にとって、ステップとは朝起きて夜眠りに就くまでの時間のなかに存在するものだ。たとえば、朝の散歩に行くとか、妻が学校に教えに行くときに手を振って送り出すとか、自分が職場で新入社員を指導するとか、スポンサーとわか

ちあうとか、人に笑いかけるとか、自分が間違っていたら謝罪するとか、自分の欠点に気づいて変わるとか、そういう単純なことなかで俺が実践することとしてステップは存在している。つまり、ステップは、人生をつくりあげる無数の小さいな相互作用のなかにあるんだ。朝目が覚めて恐怖でいっぱいでありながらも、やはり人生に踏み出していくことのなかに、ステップは存在する。ミーティングに出席して耳を傾け、自分もまたクリーンでいようとするメンバーのひとりにはすぎないことを思い出すときにも、ステップは存在する。そして大学生活に胸を躍らせている娘の声を電話越しに聞きつつ、あんなに小さかった女の子が俺の人生に登場してからこれほどしっかりした女性になって大学に行くようになるまで、自分が目の当たりにしてきた変化に思いをはせるとき、心のなかで囁く声がある。「おまえさんは一生懸命ステップに取り組んでるんだよ。そうやって身の回りに結果があらわれてるじゃないか」。ステップでも、回復でも、人生でも、自分なりに歩む道を見出すまで耐え抜いてきてよかった。今日まで生きてきたことが教訓となって、俺は全力を尽くしてプログラムを生かしているというだけの自信がついた。ときには、一日を乗り切るのに全力をつくさなければならないこともあるし、またときには、人生がトントン拍子に進んでいるように思えることもある。どちらにしても、俺は力の及ぶかぎりのことをしているし、俺の場合はそれで十分なのだ。

あの暗黒時代に俺を救ってしっかりつかまえてくれたことに対して、NAのミーティングとNAの仲間たちには感謝している。俺たちが生きるなかでステップに取り組むにはさまざまに異なる道があるし、どの道もそれぞれに正しいんだ。NAは、狂信者の集まりではないし、そんなやり方じゃステップに取り組むこともステップを生かすこともできないと言ってほかの仲間をあざ笑うためにあるのではない。むしろ逆だろう。俺は理解の多様性に恵まれたし、それぞれに学んだことや活用すべきやり方を教えてくれた仲間たちひとりひとりに感謝している。回復の道を歩むことで俺はひとり人間として成長し、一日、一日をクリーンでとどまる。今は、違いがあってもうまくやっているし、それによって万人に当てはまるものはないことにも気づいた。限られた用語で考えていると、何年も前に俺の身に起こったように、だれかを追い出すことになってしまう。信仰をもたないこと、信じるものがないこと、何であれ、ひとりのアディクトが立ち去るに値するものなどありはしないのだ。回復を求めているアディクトが死ぬことのないように、俺たちはそれぞれの進むべき道をよしとしなくてはならない。たとえ、自分とは異なる道を歩んでいてもだ！

サロジット・C (インド/ニューデリー)

信頼して 任せること

私は、62才になるビジネスマンだ。大企業の経営コンサルトを努め、補助金の申請手続きを行って年間に数億ドルをうごかす。このような業務をこなすには神経を使う。連邦や州をはじめとさまざまな地域で定められた数多くの法令や法規に従わなければならないからだ。これを怠った場合には、私は法的な責任を問われることになり、会社からも解雇されるだろう。そうしたなかで長年にわたって職務を全うしてきたため、私は周囲から信頼され、判断力を買われている。つまり、社会で役立つ人間としてきちんと働けるようになったというわけだ。一方、NAではクリーンタイムが20年を超えている。その間にはほほ切れ目なく、リージョンやエリアのサービスにすっかりかかわってきた。だからこそ、私はこの場で言わせていただきたい。『NAのサービスに関する12の概念』では、「概念10」に以下のように書かれてある。

第10の概念は、奉仕を任されたしもべ個人が尊厳をもって扱われることを保証するものです。この概念は、わかりきったことのように思われるかもしれませんが、ここで展開されている原理に対する私たちの信念はとても強いものなので、声を大にしてはっきりと表明したいわけです。ナルコティクス アノニマスはスピリチュアルな集まりであり、お互いにどのように接するかに関して高い理想もっています。

正直なところ、奉仕を任されたしもべたち（そのなかでも、エリアサービス委員会でサービスに関わっているメンバー）は、このことがわかっていないのではないかと思いたくることが多い。いったいこの説明のどこが、むずかしいのだろうか。エリアサービス委員会で、奉仕を任されたしもべがGSRに報告をするのを聞いていると、私は、そうやってNAのために尽くしてくれているメンバーに対して称賛を禁じえないし、同じ仲間としてどれほど感謝しているかと伝えたい。そこで、ひとつ提案したい。エリアサービス委員会の議長は、このような尊い自己犠牲をねぎらうことを委員会の方針としてはどうだろうか。そうでないと、奉仕を任されたしもべたちがサービス委員会という場で非難されたり責められたりすることになりかねない。エリアサービス委員会には目立ちたがりのメンバーたちがいて、それが得てして非難す

る側に回るからだ。

私自身、人前で話をするのが苦手な夕子だから、だれかに偉そうな態度で攻撃されると緊張してしまい、しどろもどろになる。だから、奉仕を任されたしもべによる報告について何か言いたいことがある場合には、私なら小委員会のミーティングに出席して詳しいことを教えてもらうことにする。そうすればASC（エリアサービス委員会）の会議のなかでだれかを辱めたり恥をかかせたりしなくてすむだろう。また、小委員会のほかに、エリアサービス委員会のJAC [ジョイントアドミニストレイティブ コミッティ（運営協議委員会）]に参加してもよい。いずれにしろ、質問をして情報を集めたうえで気がかりな点があれば、委員会のメンバーひとりひとりに愛情のあるやり方で懸念を表明すればいいのだ。

ASCやRSC（リージョンのサービス委員会）の奉仕を任されたしもべを呼びつけて叱責するのは、（概念10のほか、概念3や概念4などでも示されているとおり）当面の仕事を選べる人を選ぶという考えを侮辱することにほかならない。選ぶからには信頼しなければならない。「信頼」とはつまり、「だれかを信頼するのは、相手が正直で頼りがいがあると思うからであり、そうでなければ信じるわけがない」ということである。NAで奉仕を任されるしもべとなっているメンバーたちは、もっとともに扱われてしかるべきだろう。それは、概念10によって保証されていることなのだ。みんな、しよせんはただの人間だが、だからといってほかの人たちを傷ついたりその評判をおとしめたりしてもよいわけではない。そんなことは、善意に基づくスピリチュアルなプログラムにはあってはならないことだ。

アノニマス（アメリカ合衆国／ニュージャージー）

私たちのような仲間の集まりでは、

その成功は相互支援と

共同作業にもとづき…

個人への敬意が不可欠である。

『NAのサービスに関する12の概念』、
「第10の概念」

ステップ8 やる気

私たちは、私たちが傷つけたすべての人のリストを作り、そのすべての人たちに埋め合わせをする気持ちになった。

いやあ、ここへきてNAがなかったら、ぼくはこんなことは考えてもみなかっただろうな。これは、やる気に関するステップだ。ここまでのステップがぼくの人生に生かされていなければやる気などあるわけがないのだから、次のステップでこのような埋め合わせをしなければならぬとわかっていても恐ろしい試練にはならない。なんにせよ、ハイヤーパワーがついてくれればどうにかなるということを信じる気持ちが、今のぼくにはある。

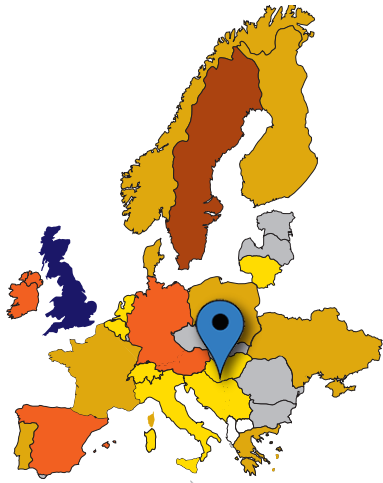
ぼくの場合には、愛と許しがすべてだ。この期に及んで、人からされたことをどうこう言ってる場合じゃない。むしろぼくの方から許していけば、ぼくは相手への恨みから解放されるんだ。自由とは、まさにこういうことを言うのだ。こうしてリストを作ってやる気になることによって（ここでもまた、「やる気」が問題になる）、ぼくはこの8番目のステップを実行できる。これで、心のなかにはびこっている罪悪感や恐れはきれいさっぱり拭い去られるんだ。

しかし、これはそうすらすらとできることではない。なかでも、自分が傷つけた人たちのことをひとり残らず思い出していくのは大変な作業になる。きちんとした償いをせずに何年も生きてきたのだから、それはもう長いリストができあがる。だが、やるとなったらとことんやるしかない。どのステップでも、そういう気持ちで取り組めば必ずうまくいくんだ。少しでもやる気が欠けると、自分が手にすることになる自由にあえて目をつぶることになってしまう。このステップは、自分の生き方に大きな変化をもたらす。これまでどうしても手放すことができなかった罪悪感や罪の意識に、この先もずっとしがみついて生きることはないのだ。こうして速やかに埋め合わせをしていけば、自分が不当に扱ってきた人々を避けてくよくよすることもなくなる。幸せに、楽しく、自由に生きられる。今さらながら、ぼくの魂をがんじがらめにしていたアディクションの鎖をはずしてもらえたことを、心から感謝している。

レット・B（アメリカ合衆国／バージニア）
シャエナンドア・バレー エリア

2014年10月発行「シェバナ エリア ニュース」より転載

WCNA 36 & 2015ユニティデイ



30人のアディクト ハンガリーで回復の道 を歩む

今日、ヨーロッパの小さな国にある人里離れた小さな町で、30人ほどのアディクトが回復を祝った。それによって、何千マイルも離れたところで同時に、何千ものアディクトたちがもっと大々的に回復を祝っていることを知ったのだ。それはまた、その大勢のアディクトたちが、地球の裏側にあるこのちっぽけなグループに目と心に向けてという奇跡的な瞬間でもあった。ユニティデイの呼びかけの際に、世界中のNAに「シャウトアウト（挨拶をする）」地域のひとつに選ばれて、僕たちはものすごくうれしかった。あのときのことを書くだけでも、胸がじゅんとしてくる。

天気にも恵まれ、夏の日差しが気持ちのいい日だったし、仲間たちの間には和気あいあいとした雰囲気があった。僕たちは、ハンガリー南部の小さな町にある小さな治療センターに集まった。隣接する都市のペーチには（ハンガリーとしては）NAが地域にしっかり根を下ろし、週に10回のミーティングが開かれている。このペーチにあるNAと、僕たちが集まった小さな治療センターとの間には、良好な協力関係がはぐくまれている。治療センターの入所者はNAのミーティングやイベントに出席しているし、センターの職員も半数がプログラムに取り組んでいるNAメンバーだから、みんなでよく一緒にサッカーをしたり料理をしたりして楽しく過ごしながら、回復を分かち合っている。

今日は、施設の入所者13人と職員3人（回復の道を歩むアディクトである）が集まったほかに、ペーチのNAからもメンバーが14人やってきた。ユニティデイの

呼びかけに参加するために集まったわけだが、それはこちらの現地時間で午後遅くだったため、みんなで楽しく一日を過ごした。そして、呼びかけは、それだけでもう、この日施設のメインホールに居合わせた者たちには感動的で心に残る経験になった。しかも、ハンガリーからただひとりWCNA36に出席していたメンバーが、偶然にもかつてこの治療センターに入所していたことがあり、ぼくたちが挨拶するのをリオで聞いていたんだから、たまらない。このメンバーは感動のあまり、ミーティングが終わるやいなや施設に連絡してきたんだ。このような集まりの仲間入りができるなんて、身にあまる光栄だ。NAにつながれたことを、心から感謝する。

アッティラ・H（ハンガリー／クーパーゴスルーシュ）

ユニティデイ ハンガリーからひとり、 ブラジルへ

やあ、俺はアディクトのラチだ。WCNA 36の企画や現地でのサービスにかかわったみなさん、どうもお疲れさまでした。みなさんには、ユニティデイにまつわる俺のとびきりの経験を書きつづる機会を与えていただいたことにも感謝している。俺がワールドコンベンションに参加するのは、これで2回目。2009年のバルセロナが初めてだった。今回のリオデジャネイロは2回目とはいえ、ハンガリーから参加したのは俺ひとりだったので勝手がちがった。

俺は、クリーンで回復の道を歩んで9年がすぎ、5年ほど前から英語を習うようになった。それも、NAにつながったおかげだ。今回のコンベンションでは言葉のちがいがゆえに少しばかり疎外感を覚えたが、仲間たちと出会うことで多くのものを得たことには変わらない。みんなとハグを交わしながら挨拶をして、調子はどうか、どこから来たのかとたずねあう。それがすごくうれしくて、NAに守られていると感じたんだ。

コンベンションが始まって参加国の紹介があったとき、ハンガリーの名前が呼ばれなかったので俺はちょっとがっかりしていた。だが、俺は英国の住所で参加登録したんだ。それじゃ、参加国の紹介でハンガリーの名前が呼ばれるわけがないよな。

俺は、ユニティデイのイベントのときに、ハンガリーのNAメンバーたちがクーパーゴスルーシュという町にある施設からシャウトアウト（挨拶する）してくるとわかっていた。この施設は、俺がク

リーンになって回復の道を歩み出した場所だ。俺はコンベンションでユニティデイのイベントに参加することになったので、ハンガリーからシャウトアウトがある瞬間を心待ちにしつつも、ほんとにそんなことが起こるだろうかとしほかり疑い深くなっていった（俺の性格上の欠点だ）。しかし、最後にはやはり、神の見事な手腕が示された。ユニティデイのミーティングが始まると、そのわかちあいや顔ぶれに俺は心底感動したし、スピーカーのひとりが俺のいた施設のことをNAの友人として語ってくれたときには、ものすごくうれしかった。

というわけで、俺は自分の国や町が地図に示されているのを見たときも、電話からクーパーゴスルーシュの仲間たちの声が聞こえてきたときも、すくっと立ち上がって周りにいたみんなに伝えた。

「これは俺の国で、俺のいるNAなんだ！」。あのとき、あの場で、そう言った瞬間に、すべてがあった。過去から回復に踏み出し、NAの仲間たちとの愛に満ちたきずなが生まれ、こうして自分が生かされているというのは格別の気分だった。

こんな生き方ができるなんて最高だし、まったく言うことはない。今の生き方にも、回復にも、与えられたチャンスにも、コンベンションにも、心から感謝している。二人のアディクトが回復を分かち合うところに、NAの鼓動が響く。だが、国境を越えて何千というアディクトによって分かち合われるなら、その鼓動たるや、大音響になるのだ。◎

ラチ・F（英国／レディング [ハンガリーを経て]）



オ・プレゼンティア・リベルダーデ ... 贈り物は、自由

これは、私たちの感謝の気持ちを伝えるために書いています。私たちの国ブラジルで初めてNAワールドコンベンションが開催されたのは、まさに歴史的な快挙でした。国が経済的な困難に見舞われているなかにあっても、ブラジルのNAは見事なやり方で成長を続けているのです。HOW [正直、広い心、やる気] をかかげるブラジル リージョン (私のいるNA) は880キロ (およそ550マイル) におよぶ地域に広がり、週に1,000回のミーティングが開かれています。

2015年の6月11日 (私たちは「史上最大の日」と呼ぶようになっていた) が近づくとつれて、さまざまなポスターが届き、ソーシャルメディアは加熱し、ブラジルのNAグループで聞かれる会話はこの日のことでもちきりでした。でも、私たち夫婦はコンベンションに参加するすべがなかったのも、後ろ髪を引かれるような思いでお祭り騒ぎには加わらないようにしていました。参加費用は、とても私たち夫婦に払える額ではありませんでした。私たちは結婚して15年になります。私はクリーンタイムが19年を超え、妻は18年。ですから、ふたりとも今回のコンベンションを逃したくはありませんでした。けれども、子どもたち2人のことを考えるとどうすればいいのか。費用をよく検討し直しましたが、やはり行けそうにはなかったのです。

それでも、かすかな望みがありました。NAのプログラムでは、自分より愛情深く思やりのある偉大な存在、すなわちハイヤーパワーにおまかせすることになっているからです。そして、ある晴れた日に、私のスポンサーのひとりが私たちのために2人分の参加登録をしてくれたのです。なんてありがたいことでしょう。しかし、参加登録が済んでも、まだ行けると決まったわけではありません。交通費と宿泊費がかかるうえに、こどもたちの世話をしてもらおう手配もしなければならないからです。すると、今度は別のスポンサーが、車で行こうと言ってくれました。これなら費用もかなり安くすむし、あとは宿泊費と子どもたちのことを何とかすればいいだけです。私たちはコンベンションセンター近くにある安めの宿を予約し、子どもたちはリオ市内にいる叔母のところにあずけることになりました。ところが、ここでふと、自分たちは正しいことをしているのかと疑問になりました。なにもかも順調に見えるからといって、はいそうですかとWCNA 36に行くわけにはいかないような気がしたのです。こういうところが、まさに病気なんでしょうね。『ベーシックテキスト』の「回復とリラプス」の章にもあるとおり、『私たちの自己破壊的な性格のなかにはどうも失敗を求める何かがある』のです。

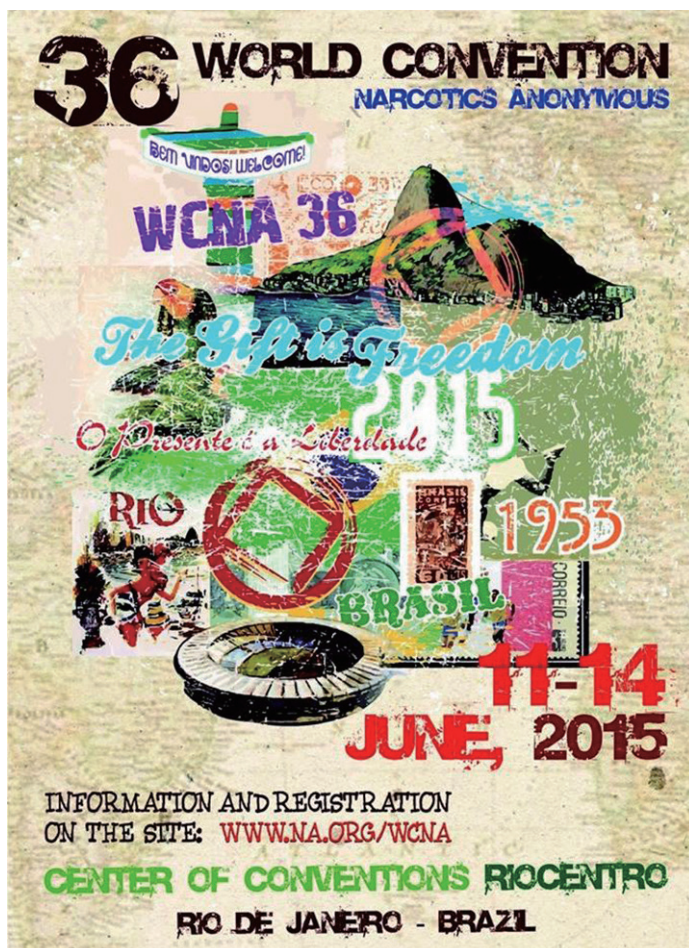
そしてコンベンションの始まる2、3日前になって、私のところにEメールが届き、WCNA 36のスピーカーになってほしいと書かれていたのです。こみあげる喜びを抑えきれず、妻とふたりで祝っていると、なんと妻のところにも同じようにスピーカーの依頼が届いたのでした。私たち夫婦がこんなふうに喜びと愛と感謝の気持ちにひたったのは、子どもたちの誕生をむかえたときのごとぐらいいか思い出せません。我が家は、感謝の気持ちと、希望と、喜びと愛に満たされ、それはもう興奮しました。

私たちはコンベンションに行き、閉会までずっとサービスに関わり、実に楽しい時間を過ごすことができました。コンベンションは、何から何まで、私たちの期待をはるかにしのぐものでした。私たちはブラジルから遠く離れた国々からやってきた仲間たちに話しかけ、文化もまったく異なり、言葉も全然通じなかったけれど、ハグをするだけで通じ合うものがありました。

今回のWCNAについては、参加人数がどのくらいであったのか、NA全体にとって赤字になったのか黒字になったのかなど、詳しいことはまだわかりませんが、このような大イベントを開催するために直接的であれ間接的であれ尽くしてくれたしもべたち全員に、私たちの心からの感謝を伝えたいと思います。私

たちがNAのことをどれほど愛しているかなど、今さら言うまでもないことでしょう。NAは単にクスリを断つ以上のことを私たちにもたらしてくれたのですから。つまり、NAのプログラムによって私たちは人生を楽しみながら生きられるようになったのです。WCNA 36は、私たち夫婦や、ブラジルのメンバーひとりひとりのためになっただけではありません。このようなコンベンションは世界中のNAの仲間たちのためにもなったし、私たちの国のためにも実に役立ちました。ブラジルのNAは国中のメディアによって認知されたのです。これで、NAのメッセージはもっと広めやすくなっていくでしょう。私たちはNAのプログラムを実践することによっていただいた贈り物について、全国ネットワークで話せるのです。そして「贈り物」とは何かと聞かれたら、旗やポスターに記されているWCNA 36のテーマを示せばいい。それは、私たちが肩を寄せ合って謳歌するものであり、私たちの涙や、笑い声や、祈りによって象徴されるもの。つまり、NAによってもたらされるものとは、自由以外のなににもありません。NAがあつてよかつた。オ・プレゼンティア・リベルダーデ! ビバナ!

アレクサンドル・B & モニカ・B (ブラジル/サンパウロ)



WCNA 36

数字で振り返る

5,000 毎回、メインミーティングの会場に並べられた椅子の数

6,051 WCNA 36で4回開かれたメインミーティングの際に、史上初となる音声生中継に耳を傾けた仲間の数

4 メインミーティングの数

3 ワールドボードによるフォーラムの数

1 パブリックリレーションズ（広報活動）に関するフォーラムの数

9 バイリンガル（二カ国語による）ワークショップの数

14 英語によるワークショップの数

14 ポルトガル語によるワークショップの数

土曜の夜に開かれた メインミーティングのスピーカー の出身国

ブエノスアイレス（アルゼンチン）
イケジャ（ナイジェリア）、
テヘラン（イラン）、
モスクワ（ロシア）、
メルボルン（オーストラリア）
リスボン（ポルトガル）



ブルーノ・M（ブラジル/リオデジャネイロ）



スティーブ・B（アメリカ合衆国/カリフォルニア）

1,000s! シュガーローフ（岬）、クリスト・レデントー（コルコバードのキリスト像）、コパカバーナとイパネマのビーチなど、ソーシャルメディアに掲載されたブラジルの名所の写真の数

ユニティデイの電話中継による参加

88 矯正施設の数

3 治療施設の数

29 NAのグループまたはイベントによる参加数

15 世界各地からの実況による「シャウトアウト（挨拶）」の数

6,125 マイル（9,857キロメートル） 一番遠くから「シャウトアウト（挨拶）」したハンガリーのコムロと、リオデジャネイロとの間にある距離

\$7,589.67 ドル 『伝統7』によって集まったユニティデイの献金総額。貨幣の種類はブラジルのレアルのほか、USドル、カナダドル、ユーロ、クローネと、あげていけばきりが無い。

55 マイル（88.52キロメートル） WCNA36開催の4日間に、ひとりのスペシャルワーカーがコンベンションセンターの隅から隅へと歩いた距離

15,000以上 登録ボランティアまたはスペシャルワーカーが、一日に20 x 30フィート平方のスペースを歩いた歩数

Uncountable: 参加登録窓口で、出席者に挨拶をした蚊の数

WCNA 36によるパブリックリレーションズ（関係機関への広報）

ブラジル国内で行っているサービス活動で私たちが最近経験したことを、みなさんにわかちあえるのは光栄なことです。そして、私たちが思い描いていた以上のことが達成できたと言えるのは実に喜ばしいことですが、このようなことは個人の能力によってなせることではなく、NAのスピリチュアルな原理というシンプルな指針に従おうとみんなで力を尽くしたからできたことでしよう。WCNA36は、ブラジルのNAの歴史のなかでもきわめて重要なイベントとなりました。このようなまたとない機会を与えていただき、私たちは世界中のNAに心から感謝しています。

リオデジャネイロにあるエリアでは、WCNAの開催時期に広報活動を行う必要性を感じていました。このため2014年になるとすぐ、パブリックリレーションズ [PR: 関係機関への広報] ならびにパブリックインフォメーション [PI: 広報] に関する活動についてNAWSに問い合わせをほしいと、リージョナルデリゲート [リージョン代表] たちに要請しました。それによって、ブラジルのNAは広報活動に取り組む用意をしてやる気になっていることを、NA全体に知ってもらえたのです。NAの大きなコンベンションがどこかで開催される場合にはPR（関係機関への広報）が重要な役割を果たすことになるため、NAワールドサービスオフィスのスタッフは前向きな返事してくれました。それから私たちはインターネットによる会議を開くようになり、しっかりPI [広報] ができるようにメディアを活用する長期的な活動計画を立てるとともに、治療センターをはじめとする重要機関のアディクションの専門家など、ブラジルのNAと長年にわたって友好関係を築いてきた関係者とも連絡を取りました。

この会議ではまず、ブラジルにおけるPR活動全般に託す未来像と使命について話し合いました。これは、NAのワールドサービスに託された未来像と使命にある文言にそのまま従うということで、すぐに合意が得られました。次に、これまでに行われてきた取り組みを一つ一つ検討し、メディア、保健衛生、教育、司法など、優先的に広報活動をすすめるべき主要分野を定めたのです。

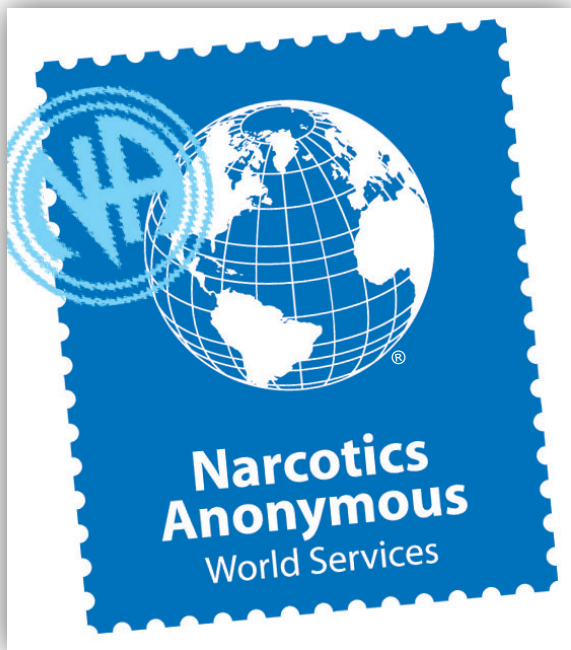
ブラジルのNAはこれまでずっと、ブラジルゾーンフォーラム [BZF] というゾーンの会議によってまとめられてきました。（注：ブラジルは国内に複数のリージョンがある）BZFは、サービスに関する経験のわかちあいや互いに手助けする場になっていますが、それ以外にも南米大陸のなかにあるひとつの国という規模で、ブラジル全体に関する活動も行っています。このためBZFには、議事運営とは別に、2本柱となるサービスの役割があります。ひとつは文献翻訳 [LT] を担当し、ブラジルにあるいくつかの文献翻訳委員会 [LTC] の間で調整をしてコミュニケーションを取りやすくしています。もうひとつは、パブリックリレーションズ [PR: 関係機関への広報] を担当し、国内の複数のリージョンに関するPRやPIの活動を引き受けています。

このPRとLTというサービスはいずれも、いくつかのNAのリーダーたちの間でコミュニケーションをはかってサービスの取り組みを実現できるようにするために、テクノロジーを利用してきました。また、このような役割ではひとり人間にできることなどたかがしれているので、まかせること、受け入れること、チームワーク、一体性、アノニミティ、自分を捨てて尽くすという原理に従うことこそが、ものごとを成し遂げるために最良の方法であるとわかるまでに時間はかかりません。私たちは、リージョンまたはエリアであっても委員会を結成したり、毎週のようにワークショップを開催したりするか、さもなければLTCの会議に直接出席できないメンバーであっても共に取り組んでもらえるように、それぞれがEメールリストによって割り当てられた仕事に参加したりするなどして、各地のメンバーがサービスに関われるようにしてきたため、ブラジルではここ何年もの間に文献翻訳に関するサービスは弾みがついています。

WCNAでは注目すべきことがいくつかありましたが、ブラジルの公用語であるポルトガル語による『ベーシックテキスト 第6版』はそのひとつであり、まちがいなくブラジルのLTCが一丸となって取り組んだことの成果でしょう。これによって初めて、ブラジルのNAはきちんと訳された『ベーシックテキスト』を手にしたのです。この翻訳には、文字通り何十人というメンバーたちが時間とエネルギーを注ぎました。そしてそのなかにはプロのメンバーたちもいて、本来ならNA全体に出費を強いることになるような作業に時間を割いてくれたのです。このポルトガル語による第6版が、ブラジル多地域文献頒布オフィスによって販売されているのを目にしたときに私たちが感じた感謝の気持ちは、とても言葉にはできません。ブラジル多地域文献頒布オフィスは、「ACS [アソシコンバラ・コミティド・サヴィコ: 委員会へのサービス提供機関]」という名称で、1993年にブラジルのNAのオフィスとして法人化されました。WCNAでは、このオフィスによって3,000部以上が販売されたのです。

同じく、PR [関係機関への広報] 活動にも成果がありました。私たちは、BZFのPR委員長であっても、PRにまわってきた仕事をひとりでこなすことにはないと考えたのです。むしろ、委員長ならず、エリアやリージョンの支援を要請するべきであり、そうすればエリアやリージョンは自分たちもやらなければと、メッセージを運ぶ機会として喜んで引き受けるでしょう。このような考えで取り組むことは、予想をはるかに超えてうまくいくのがわかりました。たとえば、NAブラジルのウェブサイトに掲載する国内のミーティング所在地一覧を編集するなど、プロジェクトを組んで共同作業を行うために協力を要請したときには、文字通り数え切れないほどのメンバーが「名乗りをあげた」のです。これは、インターネットを経由して作業を調整することになりました。実は、NAワールドサービスオフィスに登録されているブラジルのミーティングリストは、この10年ほど更新されていなかったのです。70名を超えるメンバーたちがタイプ打ちを買って出てミーティングリストを編集してくれたことで、世界中のメンバーたちはWCNA 36でブラジルを訪れたときに申し分のないリストを手にするようになりました。こうして、プロジェクトは遂行されたのです。

これとは別にもうひとつ、BZFのPRチームが調整した作業は、ブラジルのNAの歴史を書くためにグループを結成することでした。これは長時間に及ぶ何件ものインタビューを書き写し、何百ページにも及ぶ書類をまとめるという作業を伴い、とつともなく大がかりな取り組みになりました。現在も作業が続けられ、最初の成果はWCNAでの展示という形で示されたのです。これもまた一致協力による取り組みであり、関心のあるメンバーが何十人も参加してそれぞれの時間を捧げてくれなければ、とうてい成し遂げることはできなかったでしょう。



「NAきってのお祝い」が近づくなかで、私たちは当面の仕事がいくつかありました。ひとつは、一般のメディアだけでなく、これまでに「NAの支援者」となってもらえそうな感触を得ているメディアを特定して連絡を取ることでした。次に、今回初めて、保健衛生と司法の分野でNAに協力的な専門家に声をかけてみることにしました。WCNAに招いて、NAとの協力に関する経験話をしてもらおうと思ったのです。3つめは、地域社会にいる多くの友人を招待しよう（お祝いがあれば、友人を招くのはよくあることでしょう）と考え、「リオでNAのワールドコンベンションを開催いたします。ナルコティクスアノニマスという仲間の集まりの長年にわたる友人として、みなさんをご招待したく存じます。ぜひ、私たちのイベントにおいでください」と呼びかけました。

このように、私たちはWCNA 36に関する広報のために一つ一つ計画を立てていきました。たとえば、一般のメディア

NAは呼び戻された 首都ブラジリアの ミーティングに

との接触の仕方だけでなく、コンベンションのことを知らせる記事を掲載してもらう方法もわかるのではないかと、「友好的な」メディアを昼食に招くことにしました。また、ホームページでは「専門家によるパネル」のページ作成に取りかかり、3人の精神科医（全員が医療分野でアディクション治療のスペシャリストとされています）、弁護士、ブラジル司法省の治療プログラム（ブラジルの薬物裁判所）の確立と普及に関与した検察官など、専門家の話を掲載することにしました。そして、多くのアディクトではないNAの友人たちに対しても、専門家によるパネルミーティングに出席されて、そのままスピーカーによるメインミーティングまでとどまられてはどうかというお誘いをしていきました。このほか、矯正施設に収容されているアディクトたちがニューカマーとしてコンベンションに参加させてもらえるように、H & I [病院施設]によるパネルミーティングが開かれているリオの矯正施設にはもれなく連絡するというのもしました。

以上のようなことは、どれひとつをとっても簡単にはいきませんでした。たとえば、プロの報道関係者との昼食会では、やってきたのはジャーナリストがひとりだけでした。しかし、そんなことで意気消沈してはいられません。プロの報道関係者をつかまえるのは容易なことではないとわかっていましたし、大きな報道機関の関係者ならとくにそうでしょう。そ

れでも実際には、当日ただひとりの出席者はブラジルの大手新聞社のひとつで働いているジャーナリストでした。このひとつは、私たちが報道機関の同僚たちと連絡が取れるようにしようと約束までしてくれたのです。そしてWCNAが開催される2、3週間前に、非常に好意的な記事が大きく掲載されたことで、ほかのメディアにもイベントのことで連絡する弾みがつきました。

私たちは現場にいて、ことの成り行きに胸を躍らせていました。TVのニュース局と報道機関に接触をはかったのですが、そのような機関はおいそれと連絡が取れるものではありませんでした。ともかく、いくつかの新聞で報道された記事を送っておきました。コンベンション当日になると、会場にはリオのTV関係者がいて、現地にやってきたNEWSのスタッフに案内されながらイベントを適切なやり方で報道していました。また、私たちが接待した新聞記者のなかには、世界的に名の知れた新聞社の記者もいました。フランスの新聞社はコンベンションの全日程に参加し、コンベンションが終わってひと月ほどしてからとても友好的な記事を掲載してくれました。こうして実現したメディアによる報道が最良なことであったかどうかは、わかりません。ただ、NAの電話案内サービスやホームページへの問い合わせが、WCNA開催後に20%以上も増えたことは確かです。

専門家によるパネルミーティングは成功でした。内科医が2人参加してくれたのですが、ひとりとはAssociação Brasileira para o Estudo do Alcool e outras Drogas [ABEAD : アルコールならびに薬物に関するブラジル研究協会] というアディクションの専門家による協会のひとつで主導的な役割を努めており、もうひとりとはABEADとは別のアディクションの専門家協会のメンバーで、リオデジャネイロ連邦大学の精神医学教授であり、ブラジル司法省のアディクション治療にたずさわった検察官でもあります。このパネルミーティングには、私たちのゲストとして専門家が40名ほど参加してくれました。ほとんどがアディクションの治療分野の専門家ですが、ソーシャルワーカーや教育者もいました。そして会場には、450人ほどの聴衆が集まったのです。パネリストたちは、それぞれにNAと協力するなかで経験したことをわかちあうというやり方で私たちを驚かせ、NAがなぜ効果があるのかということ専門家ならではの説明の仕方でも熱心に話してくれました。

しかし、なんといってもPR [関係機関への広報] という点で特筆すべきことは、司法省の治療プログラムにたずさわった検察官が参加してくれたことでした。それも、コンベンションの全行程に参加するという関心ぶりで、4日間と通してずっと私たちと共に過ごすことになったのです。また、コンベンションには、この検察官と話したくてPRを任されたしもべたちがブラジル中から集まってい

ました。このため、PRを任されたしもべたちと検察官とがひとつのテーブルを囲んで話し合うという場が設けられたのです。これは非常に価値のある話し合いになりました。まぎれもなく「NAの味方」であるこの検察官は、薬物にからむ重罪犯のなかで比較的刑の軽い者が、どうすれば刑期を努める代わりにNAのミーティングに行けるようになるかということを説明してくれました。この検察官は、私たちのプログラムにすっかりはまっていて、コンベンションの間にはいくつかのミーティングに出席していたし、通路で私たちの仲間と熱心に話をしている姿がよく見かけられました。

こうしてコンベンションに専門家を招待したお返しとして、ブラジルの首都ブラジリアで開催されたブラジル政府司法省の麻薬政策連邦委員会による会議に、NAが招かれました。この会議では、私たちの話を最後まで聞いたあとに、出席者たちからどうすればうまく協力できるかという質問があったので、私たちは2、3のプロジェクトを例にとり説明しました。たとえば、NAの電話案内サービスの窓口を全国で800カ所設けること、ミーティングが開かれている町周辺の連邦道路にNAのサインをおくこと、NAと連邦刑務所とがシステムに阻めない交流をはかることなどです。そしてまた、専門家によるパネルのことでつながりができたため、アディクションを専門とする医療関係者によるいくつかのカンファレンスにもNAが仲間入りすることになりました。その第1弾として、今年の9月には円卓会議の特別ゲストに招かれる予定になっています。

リオのWCNA 36は、まさに、ブラジルのNAが歩みを重ねていくなかで大きな布石となりました。ラテンアメリカ [南米] の各地をはじめ、世界中からメンバーたちが参加してくれました。ニューカマーたちはあたたかい歓迎を受け（このことは、カウント・ダウンによってはっきりと示されました）、エンターテイメントはうまくいったし、地元のNAが参加してサービスに関わりました。リオデジャネイロはもちろん、ブラジル全体が生まれ変わったのです。こうして言い古された嘘は、消えていくでしょう。私たちにはそれが肌で感じられるのです。

シーザー・C

ブラジル ゾーナルフォーラム
パブリックリレーションズ チェア
カルロス・P

リオデジャネイロ リージョナルデリゲート
[リオデジャネイロ リージョン 代表]

『伝統』に関する書籍のプロジェクト最新情報

「伝統」に関する書籍のプロジェクトは、この2年間で大きな進展をみせた。その過程に加わっていただいたみなさんには心から感謝する。最終回となる見直しと意見提供の資料は2段階にずらして公開されたため、「伝統7」～「伝統10」については2015年8月31日に、そして「伝統11」および「伝統12」と「あとがき」については2015年9月30日に、それぞれ意見提供が締め切られた。ワークグループでは9月の半ばに最後の会議を開いた後も、NA全体による意見を盛り込むために原稿の修正を続けることになり、仕上がった原稿は11月にカンファレンスアジェンダレポートと一緒に郵送されるだろう。

プロジェクトの開始以来、章が構成され一冊の書籍となってゆくまでにはとぎれることなく進展がみられた。私たちは、メンバーたちの多様な要望に応えられるような本をつくろうと作業に打ち込んでいるところだが、原稿の完成までには、NA全体から寄せられたアイデアと提案にもとづき、内容と構成の面でさらにいくつかの変更を加えることになるだろう。最も大きな変更としては、章の構成を簡略化することや、長大な本にならないようにページ数を減らすことなどがあげられる。また、互いに矛盾するフィードバックがいくつもある場合には、どちらかの意見を取り入れるかで難しい決断もしなければならなかった。そのたびに、私たちは「どうすれば、このワークブックを最良の文献にすることになるのでしょうか」と問うことで、必ず導きが得られた。

それにしても、みなさんの関心の高さは驚くべきものだった。それは、さまざまなところから定期的に意見を提供してくれるグループによって示された。一定の間隔でワークショップを開いたグループもあれば、可能なときにワークショップを開いたりして意見を提供してくれたグループもあった。この本の誕生に参加しようと、メンバー、ホームグループ、文献委員会、アドホック レビュー ワークグループから寄せられた支援とその勤勉さに対して、私たちは心から感謝している。これまでの作業が滞りなく前進したのは、みなさんの努力のたまものなのだ。そこで、あえて言わせていただく…

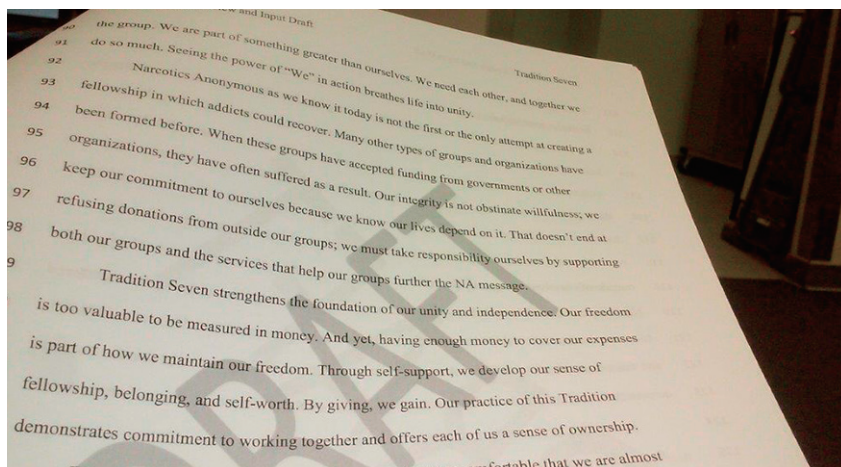
**NAが一丸となれば、
最良のNA文献がとくれるだろう。**

プロジェクトに関する掲示板も、ご利用ください。:

<http://disc.na.org/trads>

意見提供の参考資料のほか、
プロジェクトに関する完全な詳細は、
以下のサイトをご覧ください。

www.na.org/traditions



写真：トミー・O (アメリカ合衆国/ワイオミング)

Traditions Book



Project

NAが

一丸となれば、

最良のNA文献が

とくれるだろう！

フェローシップ ディベロップメント

WSLD 目的と歴史



ウェスタン サービス ラーニングデイ [WSLD : アメリカ西部サービス研修会] は年次会議であり、NAのPI[広報]やPR[関係機関への広報]、電話案内、ホームページ、アウトリーチ、H&I [病院施設] などのサービスに焦点をあて、その問題点や解決策についてメンバーたちが学びあうことを目的としている。これは毎年、アメリカ西部の13の州と、カナダ西部の2つの州ならびにメキシコにあるエリアやリージョンが、それぞれ持ち回りで主催することになっている。

WSLD は1987年にワシントン州のファイフで、ウェスタンステーツパブリックインフォメーションラーニングデイズコンベンション [WSPILD] として開催されるようになった。1991年には、世界各地で電話案内サービスがPIの活動と切り離せないものになったことにより、WSLDでも電話案内サービスに関するワークショップが開かれるようになった。1996年になるとさらに活動範囲が広がって、さまざまな計画が立てられた。そのひとつであるH&Iに関するサービスは、1999年に開始となった。

また、1997年には、第1回 (にして、最後となった) ウェスタンステーツホスピタルズアンドインスティテューションズラーニングデイズ [WSH&ILD] がノーザンカリフォルニア [カリフォルニア北部] リージョンによって主催されたが、これは第11回 WSPILD[®] と足並みをそろえるイベントとして計画されたものであった。そして当初の予定より1年早く、1998年の第12回WSLDから主催が持ち回りとなり、カナダのブリティッシュコロンビアで初めてWSLDが開催された。

WSLDにはもともと米国西部にある11の州が参加していたが、1991年になるとアラスカ州とハワイ州も参加するようになった。そして1992年にはカナダのブリティッシュコロンビア州が加わり、さらに1995年にはメキシコが加わった。こうして寄り合い所帯ができあがるまでを記した年表をはじめ、WSLDに関する詳細については、www.wsld.orgをご覧ください。

www.wsld.org より抜粋して掲載

第29回WSLD : NAの素晴らしいサービスへようこそ!

WSLD [ウェスタン サービス ラーニングデイ] がラスベガスで開催されるのは、10年ぶりのことです。あれからラスベガスのNAは成長めざましく、こうして第29回WSLDを開催するまでになりました。この週末には、サービスについて学ぶ機会がたっぷりあるので、地元や世界中のアドイクトたちにNAのメッセージを運ぶにはさまざまなやり方があることをよく理解できるでしょう。今回のWSLDには、32のワークショップ、3つのメインスピーカーズミーティング、NAに関するクイズ大会が予定されています。初日となる金曜日には、裁判官や市会議員、医療関係者などそうそうたる顔ぶれの専門家を招くなどして、午前中から地域社会での活動に関するワークショップが開かれることになっています。このようなワークショップによって、NAが地域社会の専門家たちと協力して未来の仲間の手をさしのべることに取り組むのです。参加者は、西海岸を中心に全米各地から集まるほか、カナダや、メキシコからもやってくるでしょう。

シェリー・S (アメリカ合衆国/ネバダ)



得をしたら、おすそ分けしよう！

NA Way マガジンは、読んで終わりにしてはもったいない。

わたしたちはつねに経費を削減する方法を模索している。このため、2011年には紙版によるNA Way の自動配布を廃止して読者に予約購読の再登録をお願いした。その際には、ぜひともインターネット版を購読していただきたいと呼びかけたことで、印刷代と配送費については何十万ドルもの経費を節約することができたのだ。以来、インターネット版の購読数が増加したのだが、しかし、紙版による購読数もまた増加しつつある。インターネットを利用していないメンバーは多いし、それで紙版を選ぶというのはわかる。だが、紙版とインターネット版の両方を購読するメンバーの数が増え続けているのは、わけがわからずとまどろばかりだ。

NA Wayは、ぜひともインターネット版を購読していただきたい。インターネット版には紙版では読めない記事が掲載されているので、紙版よりもずっとお得である。しかも、インターネット版なら印刷代も配送費もかからないため、その分の予算をNA Way以外の方法でNAのメッセージを運ぶことに使えるようになる。だからこの際、インターネット版を購読している人たちが、その一部や全ページをプリントアウトしてほかの人たちに分けてあげることにすれば、何千という紙版の購読者を減らすことができるだろう。以下の方法で、「得をしたら、おすそ分けしよう」という取り組みに協力していただけないだろうか。

- ✓ インターネット版を定期購読している人は、プリントアウトしてほかの人たちに読ませてあげよう。
- ✓ 紙版を購読している人は、インターネット版に切り替えるか、「それがいやなら」自分のところに届いた紙版のNA Wayをほかの人たちが回し読みできるようにしよう。
- ✓ たとえば、親しい仲間や、スポンサーや、ホームのメンバーで集まって回し読みする。たとえば、PIならびにPR委員会に回してNAに関する情報を共有できるようにしたり、H&I小委員会に回して施設にメッセージを運ぶために利用してもらったりする。
- ✓ 紙版とインターネット版の両方を購読している人は、紙版の購読を中止しよう。

参加方法が決まったら、www.na.org/subscribeでお申し込みください。

(件名「得をしたら、おすそ分けしよう」のEメールnaway@na.orgでも申し込めます)

みなさんがこの取り組みに参加してくれれば、こんな心強いことはありません。

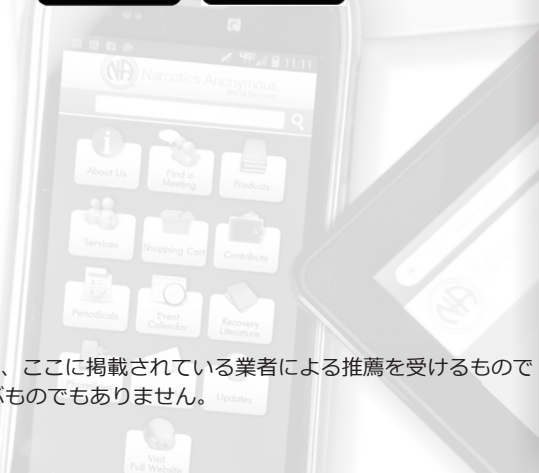
得をしたら、おすそ分けしよう！

NA文献の電子書籍やアプリを味方にしよう！

Apps (アプリ)

App Store と Google playで入手可能です。*

NAミーティング ファインダー (検索ソフト)
(今日だけ』も日替わりで読むことができます)



* この企画は、ここに掲載されている業者による推薦を受けるものでも、提携を結ぶものでもありません。

eLit (電子書籍)

AmazonとiTunes * で入手可能です

『ナルコティクスアノニマス』
(『ベーシックテキスト』第6版)

『なぜ どのように効果があるのか』

『スポンサーシップ』

『リビングクリーン：ザ・ジャーニー・コンティニューズ』

Interactive version featuring HTML sections
Exclusively at iTunes (iOS only)

Amazon: <http://tinyurl.com/o4thtm9>

Google Play: <http://tinyurl.com/ogsc7qo>

iTunes: <http://tinyurl.com/gcuducy>

グループ紹介

NA Wayでは、世界中のNAからミーティング会場やイベントの写真が送られてくるのをお待ちしております。ただし、集まっているメンバーがどこのだれとわかる写真はご遠慮ください。なお、写真には、グループやイベントの名称、所在地および国名はもちろん、グループやイベントが誕生してどのくらい経つのか、ミーティングの形式やイベントで大事にしている習慣、ユニークな点など、グループやイベントの紹介文を添えていただくようお願いいたします。

217 グループ



わたしたちのミーティングは、かつてはそれぞれ別個のグループになっていたのですが、1年ほど前に全部がひとつのグループにまとめられました。火曜の夜に開かれているミーティングは、年月を経るうちに名前が変わったけれども、おそらくスプリングフィールドではもっとも古いミーティングでしょう。最初はディスカバーNA [NA発見] という名前でした。(わたしは、最初からここをホームグループとして22年間クリーンタイムを重ねてきました。) このミーティングは、AA [アルコールリクス アノニマス] のミーティングが主流となっていた施設で誕生したので、最初のころには大変なこともありました。AAメンバーとNAメンバーとの間に感情的なぶつかり合いがあったからです。また、ミーティングのときにAAとNAの文献が同じテーブルに並べられていることでトラブルが生じたため、NAの文献を別のテーブルに移すことになりました。そんなこんなで、ようやくNAミーティング専用の部屋を借りられることになったのです。そして、AAメンバーたちがNAのミーティングにやってきて、ここなら落ち着いてわかちあいができると思っている様子を目にするのは、じつに愉快なことでした。



この部屋では現在、火曜から土曜までミーティングが開かれています。そのなかには、ちょっとほかではみられないミーティングもあります。たとえば、ブラック・ライト・ミーティングがそうです。部屋の天井にある照明器具の一部にラーヴァ・ランプ [下注] * とブラック・ライト [不可視光線] が使われていて、壁に貼ってあるポスターにはところどころ蛍光塗料を塗ってあるため、本当に浮き出て見えるのです。それ以外では、文献をじっくり読むミーティングが1回、『今日だけ』のミーティングが2、3回、キャンドルミーティングが1回となっています。

また、同席したいという仲間もまじえて、毎月第1土曜の夜8時15分にグループのビジネスミーティングを開いています。エリアのサービスミーティングは1ヵ月おきに開かれ、わたしたちのグループではメンバーが交代でGSRを努めています。わたしたちのミーティングには平均して10~12人ぐらいの出席者があり、週に2、3回は治療施設から8人~10人ほど参加しています。NAのグループは経済的に自立するものですが、わたしたちはニューカマーに渡すキータグを切らさないように購入していくのがむずかしかったため、最近はホワイト・キータグの絵柄、グループのミーティング会場の住所、ミーティングのスケジュールをプリントした名刺を渡すようになりました。そして、ミーティング会場を借りている施設との関係を維持して深めていくために、わたしたちは定期的に施設内と施設周辺の掃除をしています。

サリー・J (アメリカ合衆国/イリノイ)

ラーヴァ・ランプ ◆円筒形・円錐形などの透明な容器の中に鮮やかな色を付けた粘性のある液体を封じ込めて循環させ、それを容器内の電灯で照らし出して美しい形や動きを楽しむインテリア用ライト。



サービス センター

2016年 ワールド サービス コンファレンス

2016年度のワールド サービス コンファレンスは、4月24日～30日にアメリカ合衆国カリフォルニア州のウッドランドヒルズで開催されることになる。このワールドサービス コンファレンスについて、『ガイド・トゥ・ワールドサービス・イン・NA』には次のように記されている。

このような機構は、世界中のNAに影響を及ぼす問題や懸念について、NA全体の声による見解を表明する場となることに意味がある。ワールド サービス コンファレンスは、単なるリージョンの集会ではない。ここで懸案事項とされるのは、世界各地のNAから集まった問題とするには重大で、まさにNA全体で検討すべき問題なのだ。このような会議には、NA全体のコミュニケーションと一体性のための道具という面と、私たちの共通の福利自体が会議の本分であるフォーラムという面がある。

私たちは現在、2016年度の『カンファレンス アジェンダ レポート [CAR]』を作成中である。CARには、WSC [ワールド サービス コンファレンス] で検討される資料が盛り込まれる。また、ワールドボードによる動議のなかには『伝統』に関する書籍の承認を求めるものがあり、CARの付録に承認原稿というかたちで掲載されることになる。このほか、ワールドボードの規模ならびにボードメンバーの任期に関する提案もいくつか盛り込まれるだろう。

CARは、議決権のある出席者全員（リージョナルデリゲート [リージョン代表] およびワールドボードのメンバー）のほか、各RDオルタネイト [リージョン副代表] と、各リージョンとに郵送される。発行の日程は、英語版が2015年11月25日、翻訳版が12月24日となっている。また、前回の2年間では、カンファレンス アジェンダ レポートに関するビデオを提供するという試みが役立ったようなので、今回もパワーポイントによる概要説明ビデオを作成することになる。これも前回と同じく、カンファレンスに関するウェブサイトですぐ入手可能である。なお、CARに関する補足資料はWSO [ワールド サービス オフィス] から購入していただくことになるが、CAR は www.na.org/conference で入手可能になる。

RBZ による推薦状の締め切り

ワールドサービスの役割からHRP [ヒューマン リソース パネル] を選出するには、RBZ [リージョン、ワールドボード、ゾーン] による推薦手続きによって、リージョン、ワールドボード、ゾーンが有力な候補者を送り出すという仕組みになっている。これは、先行のHRPによる機械的な選別とは独立して行われる。ただし、RBZによる推薦があっても、指名されたことにはならない。RBZが推薦状を送ることで、先行のHRPによる機械的な選別は無効とされるが、RBZによって推薦された候補者は必ずHRPの面接を受けることになっており、この面接がHRPによる指名手続きになるのだ。なお、RBZ による手続きには、以下の4つの段階がある。

1. HRPは、リージョン、ワールドボード、ゾーン [RBZ] に対して、これが有力な候補者を送り出す機会であることを通知する。
2. HRPは、RBZによる推薦として名前が送られてきたメンバーに対して、候補者となったことを知らせ、ワールドプールをはじめとするサービスに関する書面に最新情報を記入して提出するように要請する。
3. HRPは、RBZによって推薦された各候補者と面接をして、それぞれの身元照会を行う。
4. HRPによる最終的な指名手続きの一部として、ワールド サービス コンファレンスでの指名検討の場にはRBZが同席する。

**2016年度WSCへのRBZの推薦状提出は、
2015年10月31日をもって締め切りとなります。**

さらに詳しいことを知るには、
ウェブサイトwww.na.org/hrp をご覧いただくか、
Eメール hrp@na.org でお問い合わせください。



カレンダー

NAワールドサービスに登録されているNAのグループやサービス機関が数日にわたるイベントを開催する場合には、NAのホームページとNA Wayマガジンの『カレンダー』によって情報を共有することができるようになっていきます。ここには以下のような期間で、NAのホームページにあるイベントスケジュールをもとにイベントの開催日程を載せてあります。申し込みや問い合わせについては、ホームページのイベント関連ページ www.na.org/events をご覧ください。

掲載号	イベント開催日程	掲載申し込みの締め切り
4月号	5月1日～7月31日	1月15日
7月号	8月1日～10月31日	4月15日
10月号	11月1日～1月31日	7月15日
1月号	2月1日～4月30日	10月15日

大事なお知らせ：NAでは2015年4月1日より、新たに定められたプライバシーに関する規則に従うことになりました。このため、NAのホームページにもNA Wayの『カレンダー』にも個人の連絡先に関する情報を掲載することはできません。ただし、NAWS (NAワールドサービス) に登録されているNAのグループ、エリア、リージョン、ゾーンであれば、それぞれのEメール・アドレスもしくはウェブサイトやイベントの問い合わせ先として掲載させていただきます。なお、イベントに関する情報を提出するにあたっては、私たちの「プライバシー ポリシー (個人情報に関する方針)」を読んだうえで同意することを求められます。この承認を経ないものは、『カレンダー』に掲載することはできません。

カナダ
ノバスコシア 11月6日～8日「第23回 カナディアン コンベンション」(会場)アトランティカ・ホテル (場所)ハリファクス (問い合わせ) www.canadianconvention.com
オンタリオ 2月12日～14日「第9回 トロント エリアコンベンション」(会場)トロント・ダウタウン・マリオット(場所)トロント (問い合わせ) www.torontonaconvention.org

インド
オリッサ 2月5日～7日「第8回 インディアン リージョナルコンベンション」(会場)ブルーリリー・リゾート・アンド・ホテル・エンパイアズ (場所)プリー (問い合わせ) www.naindia.in/ircna-viii/
ウェスト[西]ベンガル 11月19日～21日「コルカタ エリアコンベンション」(会場)ラダグリー、ジャルパイグリー (場所)コルカタ (問い合わせ) www.nakolkata.org

メキシコ
ロザリオ 11月6日～8日「第12回 ラテンアメリカ コンベンション」(会場)アエルトヌエボ・ホテル&ヴィラズ (場所)ロザリオ (問い合わせ) www.clana.org
タイ
セサロニキ 2月12日～14日「第9回 タイランド リージョナルコンベンション」(会場)アジア・パタヤ・ホテル (場所)パタヤ (問い合わせ) www.na-thailand.org

アメリカ合衆国
アラバマ 11月6日～8日「第20回 バーミングハム エリアコンベンション」(会場)クラリオン・バーミングハム・エアポート (場所)バーミングハム (問い合わせ) TEL: 205.317.0267
2) 1月15日～17日「第19回 セントラル[中部]アラバマ エリアコンベンション」(会場)ホリデイ・イン・エアポート (場所)モンゴメリー (問い合わせ) TEL: 334.399.7386

カリフォルニア 1月15日～17日「第16回 TAC コンベンション」(会場)オックスフォード・スウィーツ (場所)チョコ (問い合わせ) www.tac-convention.com
コロラド 11月6日～8日「第29回 コロラド リージョナルコンベンション」(会場)ザ・ウェスティン (場所)ウェストミンスター (問い合わせ) www.nacolorado.org/crcna/

コネチカット 1月8日～10日「第31回 コネチカット リージョナルコンベンション」(会場)スタンフォード・ヒルトン (場所)スタンフォード (問い合わせ) www.ctnac.org
フロリダ 11月20日～22日「第18回 レインボー ウィークエンド」(会場)マリオット・ノース (場所)フォートローダーデール (問い合わせ) www.rainbowweekend.org

2) 11月26日～29日「第34回 セレニティ・イン・ザ・サン」(会場)エンバシー・スウィーツ (場所)ウェスト・バームビーチ (問い合わせ) www.palmcoastna.org
ジョージア 11月26日～29日「ウェストエンド[西のほずれ] エリアコンベンション」(会場)マリオット・ノース (場所)フォートローダーデール (問い合わせ) www.rainbowweekend.org

イリノイ 11月6日～8日「第19回 グレーター イリノイズ リージョナルコンベンション」(会場)ウィンダムガーデン・ホテル (場所)アーバナ (問い合わせ) www.centralillinoisna.org/ircna
2) 1月7日～10日「第28回 シカゴランド リージョナルコンベンション」(会場)ハイアット・マコーミック・ホテル (場所)シカゴ (問い合わせ) www.crcofna.org

メリーランド 11月6日～8日「第18回 オーシャン・ゲイトウェイ エリアコンベンション」(会場)クラリオン・フォンテズブロー・リゾート (場所)オーシャンシティ (問い合わせ) www.ogana.org/convention
ミシガン 11月20日～22日「第5回 マーコム エリアコンベンション」(会場)スターリング・イン (場所)スターリングハイツ (問い合わせ) TEL: 586.258.6159
ミシシッピ 12月31日～1月3日「サレンダー・バイ・シーショア」(会場)ラマ

ダ・イン (場所)ゴルフポート (問い合わせ) TEL: 228.217.8286
ミズーリ 11月20日～22日「セントルイス エリアコンベンション」(会場)シェラトン・シャレー・ウェストポート (場所)セントルイス (問い合わせ) www.stlna.org/

ネバダ 11月6日～9日「第20回 シェラセージ リージョナルコンベンション」(会場)グランドシエラ・リゾートホテル・カジノ (場所)リノ (問い合わせ) www.sierrasadena.org
2) 12月31日～1月2日「第22回 ニューイヤー・ニューライフ」(会場)ハノーバー・マリオット・ホテル (場所)ホイップニー (問い合わせ) TEL: 201.968.6115

ニューヨーク 1月15日～17日「第13回 ナッソー エリアコンベンション」(会場)ロングアイランド・ハンティントン・ヒルトン (場所)メルヴィル (問い合わせ) www.nassauna.org
2) 2月12日～14日「第11回 メトロ・エリア・デ・ハブラ・ヒスパーナ コンベンション[スペイン語]」(会場)クラウン・プラザ・ホテル (場所)ホワイトブレインズ (問い合わせ) TEL: 646.330.7382

ノースカロライナ 11月20日～22日「第2回 スペクトラム・オブ・ホープ」(会場)クラリオン・ホテル (場所)グリーンズバラ (問い合わせ/郵便) 宛名「Spectrum of Hope 2」、住所: Box 20022; Greensboro, NC 27406
2) 1月8日～10日「第31回 『スピリチュアリー・ハイ』イン・ザ・ランド・オブ・スカイ コンベンション」(会場)クラウン・プラザ (場所)アッシュビル (問い合わせ) www.wncna.org

オハイオ 11月27日～29日「第4回 ユニティ・ウィークエンド」(会場)ラディソン・ホテル・シンシナティ・リバーフロント (場所)コヴィントン (問い合わせ) TEL: 513.293.7250
2) 1月1日～3日「第26回 セントラル [中部] オハイオ エリアコンベンション」(会場)クラウン・プラザ・ノースウージントン (場所)コロンバス (問い合わせ) www.nacentralohio.org

オクラホマ 1月15日～17日「ノーマン・ウィンター コンベンション」(会場)ノーマン・ホテル (場所)ノーマン (問い合わせ) www.nwc.wascokna.org
ペンシルバニア 11月19日～22日「第33回 スタート・トゥー・リップ」(会場)セブンスプリングス・マウンテン・ホテル (場所)セブンスプリングス (問い合わせ) www.starttolive.org

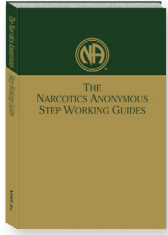
2) 11月20日～22日「第2回 デラウェア・カウンティ エリアコンベンション」(会場)クラリオン・ホテル&コンベンションセンター (場所)エシントン (問い合わせ) www.nadelco.org
サウスカロライナ 11月13日～15日「第4回 ポートシティ エリアコンベンション」(会場)ダブルツリー・バイ・ヒルトンホテル (場所)ノース・チャールストン (問い合わせ) www.portcityna.com

2) 1月29日～31日「第36回 アッパー・サウスカロライナ エリアコンベンション」(会場)マリオット・グリーンヴィル (場所)グリーンヴィル (問い合わせ) www.crna.org
テネシー 11月26日～29日「第33回 ボランティア リージョナルコンベンション」(会場)ミュージックロード・リゾート&コンベンションセンター (場所)ピジョンフォージ (問い合わせ) www.vrcna33.org

ユタ 11月20日～22日「第17回 ユタ リージョナル インディアコンベンション」(会場)ヤーロウ・ホテル (場所)パークシティ (問い合わせ) www.uricna.com
バーモント 11月13日～15日「第26回 シャンプレーン バレー エリアコンベンション」(会場)シェラトン・ホテル&コンファレンスセンター (場所)バーリントン (問い合わせ) www.cvana.org/convention

バージニア 1月8日～10日「第34回 バージニア コンベンション」(会場)リッチモンド・マリオット (場所)リッチモンド (問い合わせ) www.avcna.org
ウィスコンシン 10月14日～16日「第33回 ウィスコンシン・ステート コンベンション」(会場)ホリデイ・イン (場所)マニトウォーク (問い合わせ) www.wisconsinna.org

NAWS Product Update



eLit

The NA Step Working Guides

Available through
Amazon <http://tinyurl.com/ph5kl5k>
Google Play <http://tinyurl.com/ogsc7qo>
and iTunes <http://tinyurl.com/nzax9d8>

An eVersion of the NA Twelve Steps study guide. It provides a helpful background section discussing the principles relevant to each of our Twelve Steps, as well as some practical, “hands-on” questions for review regarding the individual’s understanding of each step.

Korean

IP#2: 그룹

Item No. KO-3102 Price US \$0.31/0.26 €

IP#13:

청소년 중독자가, 청소년 중독자에게

Item No. KO-3113 Price US \$0.31/0.26 €

IP#16: 새로 온 회원에게

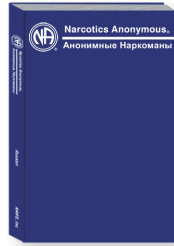
Item No. KO-3116 Price US \$0.24/0.21 €



Russian Basic Text

Анонимные Наркоманы

Available exclusively through iTunes
<http://tinyurl.com/nzax9d8>



Lithuanian

Just for Today

Tik šiandien

Item No. LT-1112 Price US \$9.00/7.90 €



Bronze Medallions

Additional denominations now available
English Series: 4356 thru 4360

French, Portuguese, and Spanish

4331 thru 4340 years, and eternity

Price US \$3.20/2.75 €

Amharic

IP#1: ማን፣ ምን፣ እንዴት እና ለምን

Item No. AM-3101 Price US \$0.24/0.21 €

Portuguese

Group Trusted Servants: Roles & Responsibilities

Servidores de confiança do grupo:

Cargos e responsabilidades

Item No. PO-2203 Price US \$0.24/0.21 €

IP#24: *A questão do dinheiro: o autofinanciamento em NA*

Item No. PO-3124 Price US \$0.53/0.46 €



Italian

Just for Today

Revised to the 6th edition Basic Text

Solo per oggi

Item No. IT-1112 Price US \$9.00/7.90 €



Swedish

Just for Today

Revised to the 6th edition Basic Text

Bara för idag

Item No. SW-1112 Price US \$9.00/7.90 €

Kannada

IP#7: ನಾನು ಒಬ್ಬ ವ್ಯಸನಿಯೇ?

Item No. KN-3107 Price US \$0.24/0.21 €



Turkish

IP#13: Genç bağımlılardan genç bağımlılara

Item No. TU-3113 Price US \$0.31/0.26 €

IP#27: Genç üyelerin ebeveyn veya velileri için

Item No. TU-3127 Price US \$0.31/0.26 €

IP#29: NA toplantılarının giriş

Item No. TU-3129 Price US \$0.24/0.21 €

eLit

Our books including *The NA Step Working Guides* are now available through Google Play in addition to Amazon and iTunes

Basic Text

It Work: How & Why

Sponsorship

Living Clean: The Journey Continues

The NA Step Working Guides

Amazon <http://tinyurl.com/ph5kl5k>

Google Play <http://tinyurl.com/ogsc7qo>

iTunes <http://tinyurl.com/nzax9d8>

Also released - exclusively through iTunes (iOS only) - is an interactive eVersion of *The NA Step Working Guides*. It features an HTML section after each group of "hands-on" questions to enter and save or email responses.

WCNA 36 オリジナルグッズ インターネットによる販売 まもなく開始

www.na.org/wcna

ビーチサンダル、ビーチタオル、
マグカップ、スニーカー...

豊富な品揃えのなかからお選びください。
自分へのご褒美や、親しい仲間へのプレゼント、
スポンサーやスポンサーへの贈り物にも、どうぞ。
返品や交換はいたしません。
サイズや数量については、在庫に限りがあります。



Coming Soon

2016 JFT Calendar

Get your daily recovery inspiration and encouragement with excerpts from our *Just for Today* book. 4.25" x 5.25" tear-off pages with easel.

Item No. 9500 Price US \$11.75/10.40 €

JFT Journal

Keep a daily journal on pages enhanced with a year's worth of *Just for Today* excerpts and beautiful artwork, wrapped in a cover featuring a stylized JFT and NA service symbol in shades of burgundy.

Item No. 9405 Price US \$14.00/12.40 €

Stainless Steel Medallion Keychain Holder

This solid satin-finished silver tone medallion-holder is etched with *share, just for today, gratitude, it works,* and the NA service symbol. The perfect pairing for your laser-etched, stainless steel medallion.

Item No. 6090 Price US \$8.00/7.10 €

7th Tradition Box

It folds flat for storage and pops up for use during meetings! The new 7th Tradition box features a drop-slot for contributions and is attractively decorated with NA artwork and 7th Tradition literature quotations.

Item No. 9111 Price US \$3.50/3.10 €

Icelandic

Basic Text (5th Edition)

Narcotics Anonymous

Item No. IS-1101 Price US \$7.90/6.90 €

eLit

Will be available exclusively through iTunes

Russian

Just for Today

Только сегодня

The NA Step Working Guides

*Руководство к работе по Шагам
в Анонимных Наркоманах*

